令和７年度 第２回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和７年９月19日（金）10：00～11：52
場　　所：Zoomを利用したWeb会議
出　　席：７名
　伊藤ゆり（大阪医科薬科大学医療統計学研究室特別職務担当教員教授）、伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター診療情報管理士）、埴岡健一（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授）、東尚弘（東京大学大学院公衆衛生学分野教授）、平田哲生（琉球大学病院診療情報管理センター長）、山里紘美（沖縄県保健医療介護部健康長寿課主任技師）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター長）
欠　　席：１名
　井岡亜希子（まるレディースクリニック院長）
陪　　席：１名
　西佐和子（琉球大学病院がんセンター事務）

【報告事項】
１．令和７年度 第１回ベンチマーク部会議事要旨について
　増田部会長より、資料１に基づき、ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。

２．　第３回医療者調査の中間報告について
　東委員より、第３回医療者調査の結果について中間報告があった。
　増田部会長より、第２回調査では選択肢が変則的であったため、今回は一般的な選択肢に変更した。選択肢が同じではないが、前回の結果と比較することができるかについて質問があった。東委員より、選択肢を変更したため、難しいのではないか。同じ選択肢である項目間での比較はできるかもしれないが、単純に結果が良くなったのか、悪くなったのかを判断することは難しいとのことだった。
　続いて、伊藤委員より、患者体験調査と対比できる部分があればさらに良いのではないかと提案があり、患者体験調査の都道府県別の結果が出ているので、参照しながら可能であると東委員より回答があった。

３．第２回市町村調査の結果について
　増田部会長より、資料３に基づき、第２回市町村調査の結果について報告があった。伊藤委員より「受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ精緻に、また、個人単位で把握することができるように検討を行っている市町村」の結果について、2023年度は検討していたが、2024年度は検討していないに回答が変わった市町村が複数あることについて

質問があった。この取り組みの有無によって、プロセス指標としての検診受診率を判断できるとよいのではないか。また、ロジックモデルの中でも、この取り組みがどのように成果を上げるのかを示すことができるとよいのではないかと提案があった。検討をしなくなった市町村に対して、個別に再調査することになった。

４．第２回医療機関調査の結果について

増田部会長より、資料４に基づき、第２回医療機関調査の結果について報告があった。平田委員より「ACP に関する院内のマニュアルを策定していますか？」の結果について確認があった。今年６月から新たな制度が施行されているため、医療機関に再調査を行うことになった。

続いて、埴岡副部会長より、各医療機関の「セカンドオピニオンの件数」について確認があった。今回から【がん】と【がん以外】に分けて件数を調査したため、回答できない医療機関が出てきた。前年度と比較する場合、経過的措置として、回答が得られた医療機関数を分母とすることになった。

５．その他

特になし。

【協議事項】

１．　第４次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)の進捗状況について

時間の都合上、次回に持ち越しになった。

２．　「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件見直し事業の進捗状況について

増田部会長より、資料６に基づき、掲載要件見直し事業の進捗状況について報告があった。

３．　その他

特になし。